

久留米市セーフコミュニティ
学校安全対策委員会

発表日 2022年 12月 22日 (木)

発表者 学校安全対策委員会委員長 小屋松 美和子

所 属 久留米市立上津小学校

みんなで取り組む安全安心まちづくり

1

1-2 学校安全対策委員会の設置の背景

主観的データ

学校における、いじめ・不登校が問題

自然災害の被害が大きくなっている

交通量が多く、子どもの交通事故が毎年発生

不審者情報の多様化・増加傾向

拠点校区（上津小学校区）

当時、学校敷地内に不審者が侵入し、子どもが殴打される事案が発生

学校は、子どもが安全安心だと感じられる場所でないといけない。

みんなで取り組む安全安心まちづくり

3

1-1 学校安全対策委員会の設置の背景

上津小学校 日本スポーツ振興センター災害救済給付対象のけがの件数(2011年度)

客観的データ

活動	件数
体育	18
教科指導	8
クラブ活動	0
学校行事	1
課外指導	0
休み時間	56
通学時	4
その他	4

学校生活で、けがをする子どもが多い。

合計件数ー 95件(全校児童数715名の13%)

みんなで取り組む安全安心まちづくり

2

2-1 学校安全対策委員会のメンバー（2022現在）

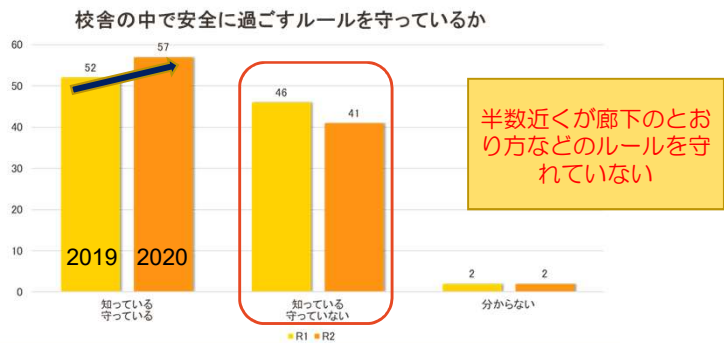
区分	所属	名前	区分	所属	名前
関係機関	久留米市校区まちづくり連絡協議会	江島 正剛	学校	久留米市小学校長会	小屋松 美和子
	(一社)久留米市交通安全協会	広津 猛		久留米市中学校長会	古賀 一英
	久留米市校区青少年育成協議会連絡会	松田 京子		久留米市協働推進部安全安心推進課	今村 浩樹
	久留米市防犯協会連合会	吉富 巧	行政機関	久留米市子ども未来部青少年育成課	原 稔治
	久留米市校区人権協連合会	綾部 章子		久留米市教育部学校教育課	新谷 祥生
警察	久留米警察署(交通第一課長)	前田 昌俊			
	久留米警察署(少年課長)	泉沢 晃一			

みんなで取り組む安全安心まちづくり

4

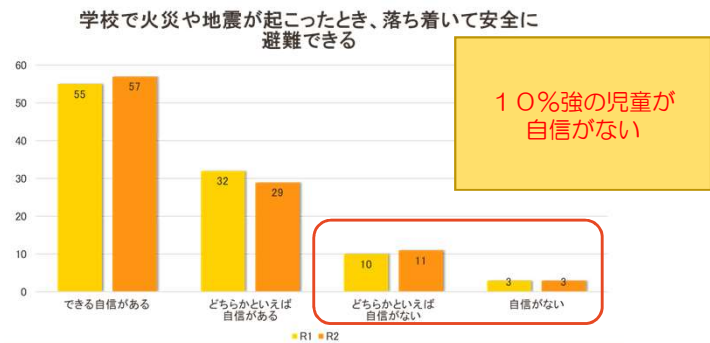
3-1-1 データに基づく課題

校内安全



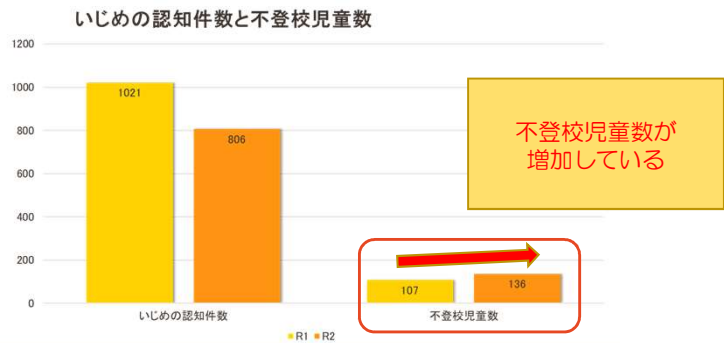
3-3-3 データに基づく課題

防災



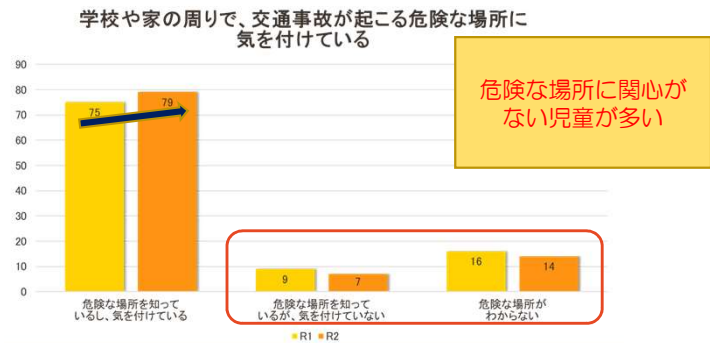
3-2 データに基づく課題

いじめ・不登校



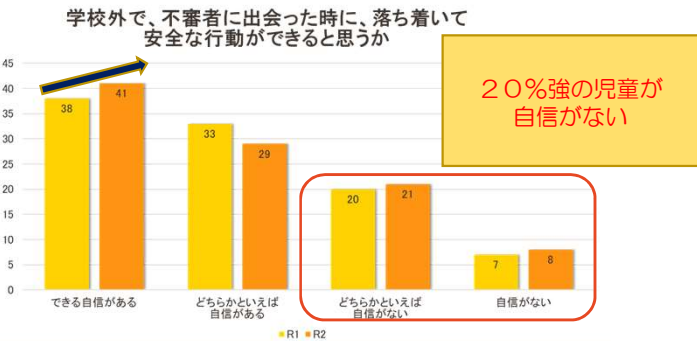
3-4-2 データに基づく課題

交通安全



3-5-2 データに基づく課題

防犯

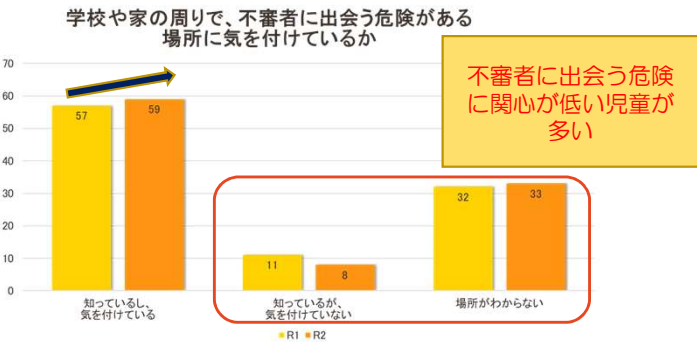


4-1 課題解決のための目標と具体的施策

	課題	目標	具体的施策
校内安全	校内のルールを守れていない	校内の安全を守る児童数の増加	児童会活動による校内安全の取組
いじめ不登校	15%弱の児童がいじめをしている自覚がある	いじめの認知件数の増加 不登校児童数の減少	いじめの芽をつむための教育や取組の推進
防災	安全な避難に10%強の児童が自信がない	安全な避難に自信がある児童数の増加	防災訓練の実施
交通安全	交通事故が起こる危険な場所に関心が低い児童	交通事故の危険場所に関心がある児童数の増加	交通安全教室の実施
防犯	不審者に出会う危険に関心が低い児童	不審者の危険場所に関心がある児童数の増加	防犯教育の実施

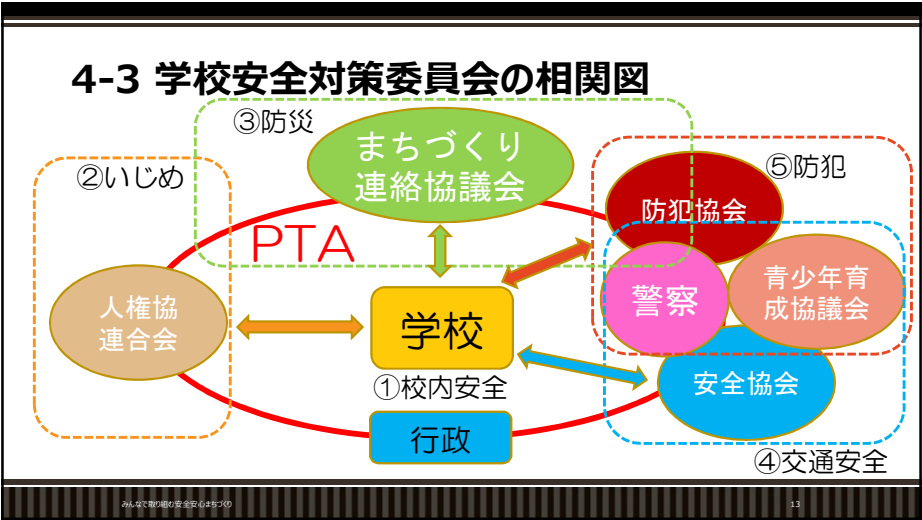
3-5-3 データに基づく課題

防犯



4-2 学校安全対策委員会の役割

校内安全	➡	学校
いじめ・不登校	➡	青少協 人権協
防災	➡	まちづくり協議会
交通安全	➡	交通安全協会 警察
防犯	➡	防犯協会 警察



6-1-1 具体的施策の紹介・成果

校内安全

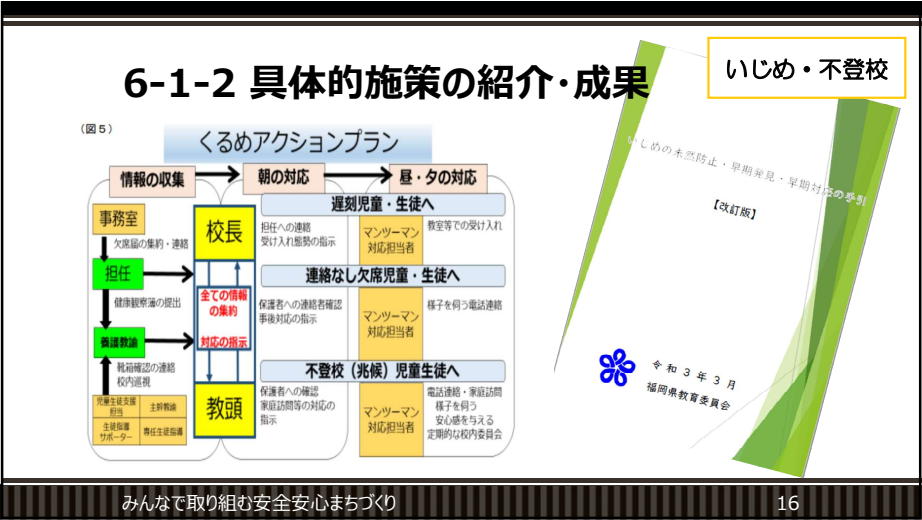
委員会を中心とした呼びかけ活動

廊下の通り方について委員会で呼びかける活動

校内安全マップの作成

5-1 レベル別の対策

目標	国県レベル	市レベル	学校レベル
校内の安全を守る児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【生活安全】	AEDの設置 いのしし対策	児童会活動
いじめはしないという児童数の増加	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の手引（県）	生徒指導サポーター くるめアクションプラン デートDV防止 SOSの出し方教育	いじめアンケート 教育相談 相談ポスト
安全な避難に自信がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【災害安全】		避難訓練 防災水泳 久留米版PUSH project
交通事故の危険場所に関心がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【交通安全】		交通安全教室 登校指導 交通安全マップの作成
不審者の危険場所に関心がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【生活安全】 規範意識育成事業（県）	不審者メール ツイタもん	防犯教室



6-1-3 具体的施策の紹介・成果

防災

災害時の危険を想定した避難訓練

火災を想定した体験的な避難訓練の実施

地震を想定した避難訓練の実施

避難場所の常時掲示

緊急避難場所の日常的な確認

みんなで取り組む安全安心まちづくり17

6-1-5 具体的施策の紹介・成果

防犯

実践的な防犯教室の実施

ロールプレイを取り入れた体験的な防犯教室の実施

安全マップづくりの取組

防犯上の危険箇所の確認やマップの見直し

みんなで取り組む安全安心まちづくり19

6-1-4 具体的施策の紹介・成果

交通安全

外部団体が参画した交通教室の実施

警察が参画した体験的な交通教室の実施

交通安全教室の実施

みんなで取り組む安全安心まちづくり18

6-2 具体的施策の紹介・成果

NEW

不審者侵入を想定した取組の改善

【対策本部】主に全体把握や判断・指示・通報
【現場班】主に不審者対応
【児童対応班】主に避難指示・誘導
【校内巡視班】主に校内巡視・残留時の搜索
【救護班】主に負傷児の対応・救急隊との連携

不審者侵入を想定した取組の改善

みんなで取り組む安全安心まちづくり20

6-2 具体的施策の紹介・成果

久留米版PUSH project



NEW

21

NEW

8-1 取組による全体的な成果

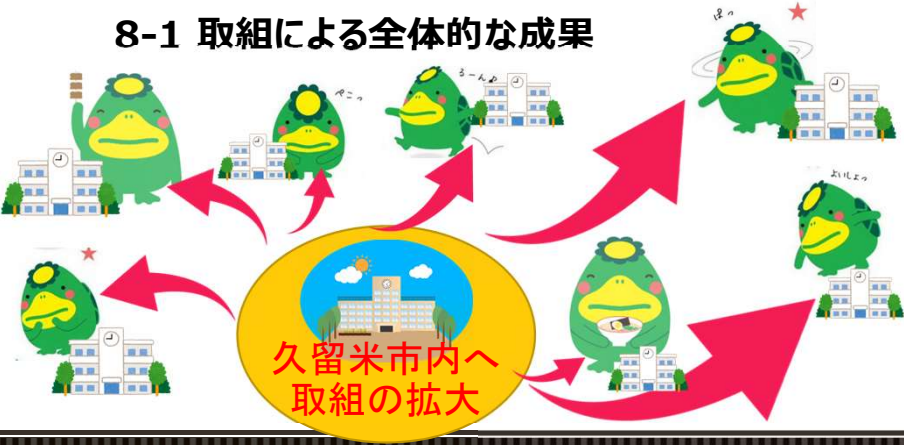
校内安全

	市内46校
けがの状況報告や保健室利用人数の集計・グラフ化（掲示）	29
月のめあての設定と振り返り・評価等	44
校内安全マップの作成	30
外遊びや雨の日の安全な遊び方の指導	44
児童の自主的な取組等の広がりが見られる。	33
学校、学級、個人の目標設定と定期的な振り返り活動	30
校内放送による安全に関する呼びかけ等	42
代表委員会の課題にあげるなど、児童による自主的な活動の推進	31

NEW

23

8-1 取組による全体的な成果



22

NEW

8-1 取組による全体的な成果

いじめ・不登校

	市内46校
いじめに関するアンケート及び教育相談の実施	45
いじめの認知や対応方法等についての教員研修の実施	38
いじめの認知率の向上	45
いじめ・不登校の対応に関する研修の実施の広がりが見られる。教職員の視点や行動の変化が児童の変容につながる。	43
ネットいじめの対応	38
保護者向けの情報提供	42
相談ポストの設置	41
児童による啓発ポスターの作成・掲示等	25

24

NEW 8-1 取組による全体的な成果		防災
		市内46校
避難訓練の実施		45
教科等の時間を活用した防災についての学習		39
消防署や防災		32
避難経路や避難	着衣水泳や救命救急講習などの実施に取り組んだ。	42
着衣水泳の実		20
地域や家庭と連携した防災に関する研修会等		10
非常時の緊急下校等についての指導及び連絡先の確認等（5		43
児童を対象にした救命救急講習の実施		5



NEW 8-1 取組による全体的な成果		防犯
		市内46校
学校による防犯パトロールの実施		21
「子ども100番の家」の設置促進と更新		42
不審者対応の	保護者、地域を巻き込んだ防犯活動が広がりつつある。	38
PTAを対象に		7
「子ども100		22
学校、地域の関係機関等との緊急時連絡体制の構築		34
防犯の機能をもたせた校区安全マップの作成		32
保護者、地域による見守り活動		44

NEW 8-1 取組による全体的な成果		交通安全
		市内46校
地域やPTA等との連携による登下校中の見守り活動		44
地域ボランティアや警察等の関係機関と連携した交通安全教室の実施		41
特別活動にお	地域との連携に広がりが見られる。	39
教職員による		39
ヘルメット着		35
地域やPTA等との協力による校区安全マップの作成		31
安全指導に特化したお便り等の配布		16
交通安全に関する強化月間等の設定		19

9-1 再認証取得後の変化・気付き
全44小学校が上津小学校のモデルを参考にした安全教育プログラムを作成して、安全教育を実施
新たな学校安全の取組 「着衣水泳」や「救命救急講習」
安心な居場所作り 「不登校児童への早期対応」

9-2 再認証取得後の変化・気付き

校内安全

いじめ・不登校

防災

交通安全

防犯

他の対策委員会との連絡・協力がより良い学校安全につながる。

防災対策委員会

交通安全対策委員会

みんなで取り組む安全安心まちづくり

29

10 今後の課題

安全教育の目標

児童の危険回避能力や行動選択能力の向上等を目指し、地域社会の中で自他の安全に目を向け、交通のマナーなど他人への心配りもできる資質・能力を育てる。

めざす児童像

安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保するための行動に結びつけることができる。

育てたい資質・能力

危険回避の意思決定 自他の安全を守る行動選択

生活安全の指導方針

①登下校の安全 ②校内での安全 ③家庭・地域での安全

みんなで取り組む安全安心まちづくり

31

10 今後の課題

校舎の中で安全に過ごすルールを守

52

57

46

41

2

分らない

知っている 守っている

知っている 守っていない

R1 R2

様々な学校安全プログラムを与えても、「児童のもの」にはなっていない可能性が考えられる。

みんなで取り組む安全安心まちづくり

30

10 今後の課題

自他の命を守る子どもを育てる

実効性のある安全教育の確立

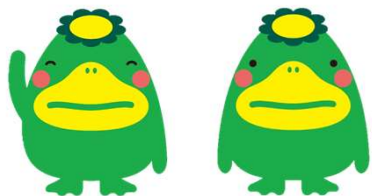
学校安全の推進

対策委員会の連携強化

みんなで取り組む安全安心まちづくり

32

ご清聴ありがとうございました。



学校の安全対策委員会

合同対策委員会についての振り返り（R5.3.24 開催）

■概要

日時：令和5年3月24日13:30～15:00

会場：久留米シティプラザ 5階 大会議室

参加者：48人

内容：（１）報告：これまでのセーフコミュニティ活動の取組と今後の展開について
（２）ワークショップ

もっと安全で安心な久留米を作るために、セーフコミュニティを浸透させる
→セーフコミュニティを伝えるために、私たちができることは？

（１）これまでのセーフコミュニティ活動の取組と今後の展開について

セーフコミュニティの目的 = 久留米の安全・安心の向上



- 2回の認証取得でセーフコミュニティが定着し、対策委員会の取組を通して、久留米の安全安心は向上。
- 3回目の認証取得を機に、もっとセーフコミュニティを浸透させ、市民一人一人が安全安心を心がける町にしたい。
- しかし、これまで取り組んできたSCの広報啓発活動では、SCの浸透は困難（R3のSC認知度：23%）。
- また、R3年度のSC実態調査では、多くの人が安全・安心の活動に取り組みたいと考えているが、行動できていない結果も

もっと安全で安心な久留米

◆多くの人がセーフコミュニティに参加する町

◆市民一人一人が安全安心を心がける町

- SCを浸透させ、安全・安心に取り組む人を増やすためには、できるだけ多くの情報を伝え続けることが大切

「私たちみんなの力で、セーフコミュニティを伝え続けていきましょう！」

(2) ワークショップ意見まとめ

個人で

- 家族や友人、子どもの友達、近所の人に話す
- 飲み会のときに話題に出してみる
- 出前講座を紹介する
- 関連するフェイスブックをシェアする、
- SNS（フェイスブック、インスタグラム）に SC について投稿する
- くるっぱの反射材をバッグに付けて、会った人に SC の話をする など

組織・団体の活動で

- 所属する団体で実施する活動、講演会・セミナーで SC についての話を入れる、紹介する
介護教室、防災活動、防災教室、救急講習会、児童虐待防止の講演など
- 出席する様々な会議で SC の情報発信し、他の団体組織に知ってもらう、働きかける
- 仕事で高齢者宅を訪れたときに、SC（転倒予防）についてアドバイスをする
- いきいきサロンの中で何ができるか話し合う
- 仕事などで出向いたところで SC の話をしてみる
- 自分の所属団体と関係がある施設に SC のチラシやパンフレットを置く
- 自分の団体のイベントや広報活動の際に、SC について啓発（チラシ、ブース、展示）
- 車にステッカーを貼る
- SC のベストを着て仕事をする
- 職場に SC のぼり旗をたてる
- 一緒に SC のキャンペーンを行う など

組織・団体の内部で

- 所属する団体の内部研修で SC の話をする、出前講座を実施する
- 職場の朝礼や会議、研修の場で SC について説明する、何ができるか話し合う、活動状況を報告する
- PTA や自治会の会議、活動の際に SC について話す
- 校区だよりに SC について載せる
- 掲示板にポスターを貼る
- 職員に SC について、SC の取り組みについて話をする
- 職員に家族に SC について話すよう依頼する
- 介護事業者を対象とした研修で SC について話す
- 主任児童員に周知する など

SC ロゴや記事を載せる

- 職場のメールに SC を加える
- 自分の団体で作る啓発チラシに SC のマーク、SC 動画の QR コードを入れる
- 自分の団体で発行する広報誌や HP に SC の記事进行載せる
- 所属する組織が行う情報発信に SC を盛り込む
- 学校配布物に SC について記載する
- 職場で使用する封筒に SC マークを入れる

他にも

- 学生が参加するメッセージ動画を作る
- 入学式や卒業式で、子どもや親に話す
- 地域ケア会議で SC 目線のアドバイスをする
- SC を校区全体で取り組む
- 全世界的な取り組みであることを SC のグッズに記載する
- SC の歌を作る
- 事業所に一つずつ SC の PR をしてもらう
- 学校で子どもたちに SC の広報について考えてもらう
- 学校でワークショップを実施する
- SC と、カフェや病院、薬局とコラボする
- 久留米独自の共通の SC ロゴ・マークを作る
- Twitter でハッシュタグを付けて呟き、他市の SC と繋がる
- 事故事案が発生した直後、当事者意識が残っているうちに SC の講習会などを実施する
- 事務局が収集している統計数値を提供する
- 学校のトイレの扉を活用して安全のために必要なことを貼る

団体の集まり等では、是非、出前講座をご活用ください。出前講座に比べ、短時間で視聴できる動画の活用についてもご検討ください。

この他、団体の広報誌やチラシ、HPなどに掲載するSCロゴのデータや掲載内容など、「セーフコミュニティを伝えるためにできること」について、安全安心推進課にご相談いただければ幸いです。どんなことでもご相談ください。

久留米市協働推進部安全安心推進課 担当：豊福、岡、浦部、古賀
〒830-8520 久留米市城南町 15-3 TEL：0942-30-9094 FAX：0942-30-9706
Email：anzen@city.kurume.lg.jp

学校安全

子ども達にあい
さつをしたりし
て、まず知って
もらって、安全
について話す

いきいきサロン
（お年寄り）の
中で、この話題
を出して、自分
が何ができるか
出しあう

他の団体の人達
に声かけをして、
理解してもらう
場を広げる

仕事場（久留米
市内）の朝礼で
言う

スポーツ振
興によるき
ずなつくり

コロナでなかな
か出来なかった。
夏休みのソーメ
ン流しは無理な
ので、ボール流
しをしたいと思います

老人の活動
をリードし
ていく

友人がフードバ
ンクで頑張っ
ているので、応援
しながら参加し
たいです

フードバンクで
盛り上がった

地域活動

PTA活動の
会議で話す

長生きする
為の方策

校区のまち
おこし活動

地域の見守
り・防災・
防犯

地域を楽し
い町にして
いく

地域の人に
あったら、
あいさつを
して話題を
もちかける

子供達と一
緒に物造り
したいです

交通安全が
んばってゆ
く

後進の育成

向こう三軒
両隣の復活